建築工事仕様書

Ⅰ 工事概要

1 工事場所　雲南市三刀屋町三刀屋地内

2 地域地区　都市計画区域（ ⊙ 内 ・ 外 ）
用途地域等（ 近隣商業地域 ）

3 敷地面積　2,379.94 ㎡

4 建物用途　博物館・図書館

5 棟別概要

No.	建物名称	建築種別	構造	階数	建築面積(㎡)	延面積(㎡)
1	永井隆記念館	新築	S造	1	631.14	579.48
2						
3						
	合計					

Ⅱ 工事仕様

1 図面及び特記事項に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成２８年版〔平成２８年６月改定〕」(以下「標準仕様書」という)による。ただし、改修工事に関しては「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成２８年版〔平成２８年６月改定〕」(以下「改修標準仕様書」という)による。

2 特記事項
(1) 章及び項目は、番号に◯印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は ⊙ 印を適用する。
⊙ 印の無い場合は、 ＊ 印のあるものを適用する。
⊙ 印と ⊛ 印のある場合はともに適用する。
(3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目・図または表を示す。

章	項目	特記事項
① 一般共通事項	① 適用基準等	＊ 建築工事標準詳細図（平成２８年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・ 公共住宅標準詳細設計図集（第４版） 公共住宅事業者等連絡協議会監修 ＊ 工事写真の撮り方（改訂第３版）建築編 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
	② 材料の品質等	本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、ＪＩＳ及びＪＡＳマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の１）～５）の事項を満たすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、簡易な材料又は品質を証明する資料の入手困難なもの等については、次の１）～５）を考慮の上、監督職員の承諾を受けて証明資料の提出を省略することができる。 １）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 ２）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ３）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ４）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 ５）安定的な供給及び保守等の営業体制が整えられていること。 なお、商品名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 また、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 ただし、社団法人公共建築協会編集・発行「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　建築材料等評価名簿(平成___年版)」及び「同設備機材等評価名簿(平成___年版)」に記載されたものについては、所定の品質及び性能を有しているものとする。
	③ 特別な材料の工法及び製品	標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて、当該製品指定工法によることができる。 ・ しまね・ハツ・建設ブランドに登録された下記工法又は製品を使用する。

登録技術	適用箇所

章	項目	特記事項
	④ 電気保安技術者 (1.3.3)	工事現場におく電気保安技術者は、監督職員の指示に従い、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
	⑤ 発生材の処理等 (1.3.11)	・ 引き渡しを要するもの（ ） ・ 現場において再利用を図るもの（ ） 産業廃棄物の処理及び再資源化を図るものは下記による

項目	品目	搬出場所	距離	処分費	備考
特定建設資材	コンクリート殻	大福工業（雲南市）	7.1km	公表単価	
特別管理産業廃棄物					

⑥ 交通安全管理 (1.3.8)	以下のとおり、交通の誘導に係る業務に従事する者を配置すること。 配置する位置は別に図示する。	

名称	人・日数	交通安全管理の必要な作業等
交通誘導員Ａ		
交通誘導員Ｂ	150人	
交通整理員		

（注)交通誘導員A、Bは警備業法に定める警備員とし、交通整理員については資格を問わない。

⑦ 技能士 (1.5.2)	技能士制度の趣旨を十分理解の上、積極的な活用に努めること。	
⑧ 化学物質の濃度測定 (1.5.9)	下記により測定し、その結果を監督職員に報告する。 測定化学物質名： ⊙ ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ　⊙ ﾄﾙｴﾝ　⊙ ｷｼﾚﾝ　⊙ ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ　⊙ ｽﾁﾚﾝ ⊙ ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ 測定方法： ⊙ 営繕工事におけるホルムアルデヒド等測定要領 ・ 学校施設の工事における環境衛生検査の濃度測定要領 ・ 住宅性能表示制度に基づく測定方法 （ただし書きによる測定方法を含む） 測定箇所：　3カ所 測定対象室：図書室・研修室・展示室	
⑨ 工事写真	下記のものを提出する。 仕様は、建築工事写真取扱要領による。	

区分	分類	サイズ（mm）	提出部数
工事中（着工前含む）	＊ カラー	＊ 80×120 程度	1 部
完成	＊ カラー	外部全景 ＊120×170 程度 ・ 80×120 程度 その他 ＊ 80×120 程度	2 部
フィルムカメラを使用した場合は、完成写真のネガフィルムをカラーベタ焼き又はインデックスプリントとともに提出する。			1 部
デジタルカメラを使用した場合は、工事写真及び完成写真のデータを記録したＣＤ－Ｒ等を提出する。			1 部

＊写真及びﾈｶﾞﾌｨﾙﾑは、市販のJIS A4判の工事用アルバムにて製本し、提出する。

⑩ 完成図及び電子納品について	仕様は、建築工事完成図取扱要領による。	

	品名・仕様	提出部数
＊ 原図（設計原図の訂正でもよい）		1 部
複写図	＊ 竣工図 製本サイズ（ ＊ Ａ３版 ・ Ａ２縮小版 ）白焼 表装（ ＊ レザック表紙（ラミネート仕上） ⊙ 黒表紙金文字入り）	3 部
複写図	＊ 施工図(構造躯体図、設備の配管配線図、監督職員が指示する図面) 製本サイズ（ ＊ Ａ３縮小版 ・ 原図サイズ ）白焼 表装（ ＊ レザック表紙（ラミネート仕上） ・ 黒表紙金文字入り）	2 部
＊ 電子データ（画像データ、ＣＡＤデータ）（ＣＤ－Ｒ等）		1 部

設計に関するＣＡＤデータを貸与するが、著作権者は、___雲南市___にある。なお、貸与されたデータは、当該工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用してはならない。
＊「工事における電子納品特記仕様書」に基づき、成果物の納品を行うこと。

⑪ 保全に関する資料 (1.7.3)		

書類名	提出部数
建築物等の利用に関する説明書　（電子データ共（CD－R等）） （建築物等の利用に関する説明書作成要領による） 機器取扱い説明書 機器取扱い説明書 官公署等届出書類 その他監督職員が指示するもの	2 部

⑫ 特定元方事業者の指名	下記の者に、労働安全衛生法第３０条第２項に基づく指名を行う。 ⊙ 本工事の受注者 ・ 関連他工事の受注者（ ）	
⑬ 施工図及び施工計画書	提出した施工図及び施工計画書の著作に関わる当該建物における使用権は発注者に委譲するものとする。	
⑭ 耐荷重及び耐外力	建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速 Ｖ0(m/s) ・ 30 ⊙ 32 ・ 34 地表面粗土区分 ・ Ⅰ ・ Ⅱ ＊ Ⅲ ・ Ⅳ 積雪荷重　告示第1455号、島根県建築基準法施行細則による	
⑮ 火災保険	契約約款第51条における保険の加入期間は、工事着手から工事の完成期日後40日とする	
⑯ 工事実績情報の登録	工事受注時　契約締結後10日以内 登録内容の変更時　変更契約締結後10日以内 工事完成時　工事完成後10日以内	
⑰ 関連他工事	永井隆記念館建設（電気設備）工事 同　上（機械設備）工事 同　上（展示製作）工事 同　上（外構整備）工事	
② 仮設工事 ① 手すり先行足場 (2.2.4)	「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成２１年４月２４日策定）」による。 ＊足場を設ける場合、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版2.2.4(b)によるほか、設置においては、「手すり先行足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は、(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。	
2 監督員事務所 (2.3.1)	面積：　㎡程度　仕上げ： 備品：	
③ 工事用水	構内既存の施設 ・ 利用できる(有償)　⊙ 利用できない	
④ 工事用電力	構内既存の施設 ・ 利用できる(有償)　⊙ 利用できない	
⑤ 仮囲い及び出入口	設置箇所・材質・構造及び設置期間は図示による。	
6 養生シート	設置範囲　・ 図示の位置　・ 外部足場全面 養生シートの種別 ・ 養生シート ・ 防炎Ⅰ類　・ 防炎Ⅱ類 ・ ネット状養生シート ・ 防炎Ⅰ類　・ 防炎Ⅱ類	
7 洗車場	設置箇所・材質・構造及び設置期間は図示による。	
8 木製安全施設製品（県産木材製品）	・ 工事用標示板（表示板1,400mm×1,100mm用）　台 ＊ 工事用看板（表示板1,400mm×500mm用）　２台 ＊ 工事用バリケード　５台	
③ 土工事 ① 埋戻し及び盛土の種別 (3.2.3)	埋戻し　・ Ａ種　＊ Ｂ種　・ Ｃ種　・ Ｄ種　(表3.2.1) 盛土　・ Ａ種　＊ Ｂ種　・ Ｃ種　・ Ｄ種　(表3.2.1) （Ｃ種の場合の詳細は、特記仕様書追加事項による。）	
② 建設発生土の処理 (3.2.5)	指定処分　・ Ａ　・ Ｂ　・ Ｃ　⊙ Ｄ　・ Ｅ　・ Ｆ ⊙ 発生土の70m3程度は構内庭園にマウンド状に敷ならす（別途工事 外構整備工事で利用を予定）	
3 山留め (3.3.2～3)	工法等（ ） 存置　・する　・しない	
④ 地業工事 1 試験杭 (4.2.2)	＊ 図示による	
2 杭の載荷試験 (4.2.3)	・ 鉛直載荷試験　・ 水平載荷試験 試験杭の位置及び載荷荷重等は図示による。 試験の方法及び報告書の記載事項等は図示による。	
3 地盤の載荷試験 (4.2.4)	平板載荷試験 試験位置及び載荷荷重は図示による。 試験の方法及び報告書の記載事項等は図示による。	
4 既製ｺﾝｸﾘｰﾄ及び鋼杭地業 (4.3節、4.4節)		

杭の種別	＊ ＰＨＣ杭	
規格名称	JIS A 5373	図示による
曲げ強度による区分	図示による	図示による
寸法（径×長さ）	図示による	図示による
設計支持力(kN／本)	図示による	図示による
先端部形状	開放形	図示による
継手の工法	溶接継手	図示による
杭頭の処理	図示による	図示による

工法　・ ﾌﾟﾚﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ併用打撃工法（掘削長・径は図示による）
・ セメントミルク工法（支持地盤は図示による）
・ 特定埋込杭工法（支持地盤は図示による）
杭の精度
水平方向の位置ずれ
杭径の1/4かつ100mm以下　・

5 場所打ちコンクリート杭地業 (4.5節)	工法　・ アースドリル工法（支持地盤は図示による） ・ リバース工法（支持地盤は図示による） ・ オールケーシング工法（支持地盤は図示による） ・ 場所打ち鋼管ｺﾝｸﾘｰﾄ杭工法　（支持地盤は図示による） ・ 拡底杭工法（支持地盤は図示による） コンクリート 種別　・ Ａ種　・ Ｂ種　(表4.5.1) 設計基準強度　N／mm2 構造体コンクリート強度と供試体の強度差を考慮した割り増し ・ 行う（ ・ ３N／mm2 ・ ）　＊ 行わない 杭の精度 水平方向の位置ずれ 杭径の1/4かつ100mm以下　・	
⑥ 砂利地業 (4.6.2)	材料　・ 切込砂利または切込砕石 ＊ 再生クラッシャラン	
⑦ 床下防湿層 (4.6.5)	⊙ 屋内に面する土間下全般	
⑧ その他の地業	⊙ 地盤改良 工法 ⊙ 深層混合処理工法 ・ 浅層混合処理工法 ・ 路床改良工法 セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の試験 ⊙ 六価クロム溶出試験 配合設計段階　1 検体　施工後段階　検体 ・ タンクリーチング試験 ・ ラップルコンクリート 6.14節無筋コンクリートを適用する。 設計基準強度　N／mm2 、スランプ　cm	
⑤ 鉄筋工事 ① 鉄筋の種類 (5.2.1)		

種類の記号	径
＊ SD295A	D10　D13　D16
＊ SD345	D19以上
・	
・	

2 溶接金網 (5.2.2)	寸法　＊ 6.0φ×100×100　・ 施工箇所（ ）	
③ 継手 (5.3.4)	継手の工法	

部位	継手工法と適用径の範囲
⊙ 柱主筋	＊ガス圧接（D19以上）　・
⊙ 梁主筋	＊ガス圧接（D19以上）　・
・基礎スラブ、耐圧スラブ	・ガス圧接（ ）　・
・土圧壁など	・重ね継手（ ）　・
・耐震壁	＊重ね継手　・
・杭主筋	＊重ね継手　・

鉄筋の継手位置は鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造配筋指針・同解説（（一社）日本建築学会）による

④ 圧接完了後の試験 (5.4.9)	抜取試験の方法 ＊ 超音波探傷試験　・ 引張試験 受注者が検査機関と直接締結した契約書等の写しを提出する。	
⑥ コンクリート工事 ① コンクリートの種類と強度 (6.2.1～2) (6.10.1～2)	＊ 普通コンクリート	

設計基準強度(Fc)	気乾単位容積質量	スランプ	適用箇所
＊ 21N／mm2	＊ 2.3t/m3程度	15cm	基礎、床版、外構

・ 軽量コンクリート

設計基準強度(Fc)（ N／mm2 ）	種別	所用気乾単位容積質量(t／m3)	適用箇所
	・ １種 ・ ２種		
	・ １種 ・ ２種		

② ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ (6.2.1) (6.4.1～2)	種別　＊ Ⅰ類　・ Ⅱ類　(表6.2.1)	
③ 構造体コンクリートの仕上り (6.2.5(b))	打放し仕上げの種別（合板せき板を用いる場合）　(表6.2.4)	

種別	適用箇所
⊙ Ａ種	根廻り
・ Ｂ種	
・ Ｃ種	

④ 塩化物量、アルカリ総量及び混和材料 (6.3.1(d)) (6.5.4)	塩化物量　0.3kg／m3以下　(6.5.4(a)) アルカリ総量　総量3kg／m3以下　(6.5.4(b)) 混和剤　＊ＡＥ減水剤　・高性能ＡＥ減水剤 混和材	

有限会社 環境計画建築研究所 DESIGN ENVIRONMENTAL
1級建築士事務所登録1572号
1級建築士登録62456号
矢田和弘

工事名　永井隆記念館施設整備事業
永井隆記念館建設（建築主体）工事

図面名　特記仕様書　1　縮尺　図番　A-01

章	項目	特記事項
	⑤ 型枠のせき板 (6.8.3)	材　料 (＊) 合板（厚さ　＊ 12mm　・　　） ・表面加工品 ＊Ｂ－Ｃ ・ 床型枠用鋼製デッキプレート （建設技術評価品または評価名簿による） 適用箇所（　　） ・ メッシュ型枠 コンクリートの増打ち厚さ　10mm（両面） 規格　鋼板厚　0.5mm　リブ山高　8mm　ﾘﾌﾞﾋﾟｯﾁ　75mm 適用箇所（　　） ・ 断熱材兼用型枠 （断熱材厚 25mm以下かつ熱抵抗値 1mh℃／kcal以上） 適用箇所（　　） ・ ＭＣＲ工法用シート 適用箇所（　　） (・) 化粧型枠 参考品番（　　） 適用箇所（　根廻り　　）
	6 マスコンクリート (6.13.2)	セメントの種類　・（　　） スランプ　＊ １５cm
	⑦ 無筋コンクリート (6.14.1)	設計基準強度(Fc)：＊ １８N／mm2 スランプ：(・) １５cm　・ １８cm 適用箇所：＊ 6.14.1(e)による
⑦ 鉄骨工事	① 鉄骨製作工場 (7.1.3)	＊ 指定性能評価機関によるグレードの指定 ・ Ｓ　・ Ｈ以上　(・) Ｍ以上　・ Ｒ以上　・ Ｊ以上 ・ 監督職員が承諾する製作工場
	② 施工管理技術者 (7.1.4)	＊ １級鉄骨製作管理技術者 ・ 監督職員が承諾するもの
	③ 鋼　材 (7.2.1)	鋼材の材質等　(表7.2.1) 種類の記号 (・) SS400　・ SN400A　・ SM490A　・ SSC400　(・) STKR400 (・) BCR295　(・) STK400　(・) SNR400B　(・) SN490B　(・) SN490C
	④ 高力ボルト (7.2.2)(7.3.2) (7.4.1～9)	高力ボルトの種別 ＊ トルシア形　・ ＪＩＳ形　・ 溶融亜鉛めっき
	⑤ アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)	材　質 （構造用）　＊ SNR400 （建方用）　＊ SS400 構造用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ及びｱﾝｶｰﾌﾚｰﾑの形状及び寸法 ＊ 図示による 建方用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄの保持及び埋込み工法　(表7.10.1) ・ Ａ種　＊ Ｂ種　・ Ｃ種
	6 柱底均しモルタル (7.2.9)(7.10.3)	材料　＊ 無収縮モルタル　・ モルタル　(表7.2.6) 厚さ　＊ 図示による 工法　＊ Ａ種　・ Ｂ種　・ 図示による　(表7.10.2)
	⑦ 溶接部の確認 (7.6.10)	溶接施工管理技術者が確認する。
	⑧ 溶接部の試験 (7.6.11)	＊ 完全溶込み部の超音波探傷試験 ・ 放射線透過試験 受注者が検査機関と直接締結した契約書の写しを提出する。
	⑨ 錆止め塗装 (7.8.1～4)	塗料の種別 鉄鋼面　＊ Ａ種　・ Ｂ種　(表18.3.1) 亜鉛めっき鋼面　・ Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種　(表18.3.2)
	10 耐火被覆の種類及び性能 (7.9.2～7)	種類　・ ﾗｽ張りﾓﾙﾀﾙ塗り　・ 耐火材吹付け　・ 耐火板張り ・ 耐火材巻付け 性能　・ ３０分耐火　・１時間耐火　・２時間耐火　・３時間耐火
	11 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合 (7.2.2)(7.3.2) (7.12.4)	摩擦面の処理 ブラスト処理
	12 その他	

章	項目	特記事項
⑨ 防水工事	1 アスファルト防水 (9.2.2～5)	(表9.2.3～9) 工法種別：・Ａ－１　・Ａ－２　・Ａ－３ ・ＡＩ－１　・ＡＩ－２　・ＡＩ－３ ・Ｂ－１　・Ｂ－２　・Ｂ－３ ・ＢＩ－１　・ＢＩ－２　・ＢＩ－３ ・Ｄ－１　・Ｄ－２　・Ｄ－３　・Ｄ－４ ・ＤＩ－１　・ＤＩ－２ ・Ｅ－１　・Ｅ－２ 施工箇所 屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材 材質　＊ Ａ種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材　３種ｂ ｽｷﾝ層付き （特定フロンを使用していないもの） ・ 厚さ　＊ ２５mm　・ 屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材 材質　＊ Ａ種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材　２種１号又は２号で透湿係数を除く規格に適合するもの ・ 厚さ　＊ ２５mm　・ 防水立上り部の保護　＊ 乾式保護材　・ れんが 脱気装置 ＊ 設ける（ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類製造所の指定による） ・ 設けない
	2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2～3)	(表9.3.1～3) 工法種別：・ＡＳ－Ｔ１　・ＡＳ－Ｔ２ ・ＡＳ－Ｔ３　・ＡＳ－Ｔ４　・ＡＳ－Ｊ１ ・ＡＳＩ－Ｔ１　・ＡＳＩ－Ｊ１ 施工箇所 屋根露出防水絶縁断熱工法に用いる断熱材 材質　＊ Ａ種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材　２種１号又は２号で透湿係数を除く規格に適合するもの ・ 厚さ　＊ ２５mm　・ 脱気装置 ＊ 設ける（改質アスファルトシート類製造所の指定による） ・ 設けない 屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿層 ＊ 設ける（改質アスファルト製造所の仕様による）　・ 設けない
	③ 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2～3)	(表9.4.1) 種別：・Ｓ－Ｆ１　(・) Ｓ－Ｆ２　・Ｓ－Ｍ１　・Ｓ－Ｍ２　・Ｓ－Ｍ３ シート厚(mm)：＊ 1.2　＊ 2.0　＊ 1.5　＊ 1.5　＊ 1.2 仕上塗料：種類／使用量(kg/㎡) 施工箇所：陸屋根 (表9.4.2) 種別：・ＳＩ－Ｆ１　・ＳＩ－Ｆ２　・ＳＩ－Ｍ１　・ＳＩ－Ｍ２ シート厚(mm)：＊ 1.2　＊ 2.0　＊ 1.5　＊ 1.5 仕上塗料：種類／使用量(kg/㎡) 施工箇所 (表9.4.3) 種別：・Ｓ－Ｃ１ シート厚(mm)：＊ 1.0 モルタル塗り厚さ(mm) 施工箇所 機械的固定工法に用いる断熱材 材質　＊ Ａ種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材　２種１号又は２号で透湿係数を除く規格に適合するもの又はＡ種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材 ・ 厚さ　＊ ２５mm　・ 接着工法に用いる断熱材 材質　＊ Ａ種ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの ・ 厚さ　＊ ２５mm　・
	④ 塗膜防水 (9.5.3)	(・) 超速硬化ウレタン複合防水 (表9.5.1～2) 種別：・Ｘ－１　・Ｘ－２　・Ｙ－１　・Ｙ－２ 仕上塗材：種類／使用量(kg/㎡) 施工箇所 種別Ｘ－１における脱気装置 ＊ 設ける（種類・設置数量は主材料製造所の指定による） ・ 設けない 種別Ｙ－２における保護層 ・ 設ける　・ 設けない
	5 ケイ酸質系塗布防水 (9.6.3)	(表9.6.2) 種別：・Ｃ－ＵＩ　・Ｃ－ＵＰ 施工箇所

章	項目	特記事項
	⑥ シーリング (9.7.2)(9.7.5)	シーリング材の種類及び施工箇所 図示以外は、表9.7.1による (・) 上記以外：軽微な隙間等美観に関わる監理者の指示する箇所 接着性試験 ＊ 簡易接着性試験　・ 引張接着性試験　・ 行わない
	7 漏水試験	室内の防水施工部分については、水張り試験を行う。
	⑧ 施工保証書	下記防水工事施工部分について、１０年間の施工保証書を提出し、期間内に請負者の責任により漏水したときには、請負者の負担により直ちに補修することを確約する。 ・ アスファルト防水　・ 改質アスファルトシート防水 (・) 合成高分子系ルーフィングシート防水　(・) 塗膜防水 ・ ケイ酸質系塗布防水
⑩ 石工事	1 施　工 (10.1.3)	石材の割付け　・ 図示による
	2 天然石 (10.2.1(a))	品質(JIS A 5003による等級) 床　用　＊ ２等品　・ その他　＊ １等品　・ 形状及び寸法　＊ 図示による 石材の種類・仕上げ等　(表10.2.1)(表10.2.2)
	3 取付け金物 (10.2.2)	乾式工法の方式 ・ スライド方式　・ ロッキング方式　(表10.2.4)
	4 その他の材料 (10.2.3)	石裏面処理材　・ 石材施工業者の指定製品 裏打ち処理材　・ 石材施工業者の指定製品 ドレンパイプ　・ 金物固定充填材料　・ 石材施工業者の指定製品
	⑤ 定　礎	定礎石 種類(産地、名称等)　(・) 中国産御影石 寸法(mm)　Ｗ×Ｈ×ｔ＝ 525×375×60 収納箱 材質　＊ ｽﾃﾝﾚｽ(SUS304) t=0.8mm　・ 鋼板 t=0.4mm 寸法(mm)　Ｗ×Ｈ×ｔ＝
⑪ タイル工事	1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3)	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の設置位置 外壁　・ 図示による　・ 表11.1.1による　・ 伸縮調整目地の設置位置 屋内　・ 11.1.3(b)による
	② タイル (11.2.2)(11.3.2) (11.4.2)	タイルの種類　＊ 一般品　・ 再生材利用タイル 施工箇所：形状寸法(mm)：備考（参考品番・同等品） アプローチ：300×300×13：㈱LIXIL ピアッツァOXシリーズ同等品 点字タイル：300×300×13：同 上 胸像ステージ：300×600×15：同 上 図書テラス：300×600×10：㈱LIXIL レガーロ同等品 外壁：75×75×7・9：㈱LIXIL メルヴィオプロフィーネ同等品 展示室：600×1,200×10：㈱LIXIL バルステイン同等品 WC 汚垂タイル：800×600×13 テーパー付：㈱LIXIL キラミックステップ同等品 ＊ タイルの色は特記無き限りメーカー標準色とする。 役物使用箇所（形状は図示による） 内装　＊ 出隅　＊ 天端　・ 外装　＊ 出隅　＊ 窓台　＊ マグサ　・ （標準一体成型品以外は接着成型品とする） タイルの試験張り　＊ 行わない　・ 行う（　　） タイルの見本焼き　＊ 行わない　・ 行う（　　）
	3 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り (11.2.7)	モルタル塗りのコンクリート素地面の処理 ・ ＭＣＲ工法　・ 目荒らし工法（高圧洗浄） 壁タイル張りの工法 外装タイル　・ 密着張り　・ 改良積上げ張り　・ 改良圧着張り ユニットタイル　・ マスク張り　・ モザイクタイル張り
	④ 接着剤による陶磁器質タイル張り (11.3.7)	モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・ ＭＣＲ工法　・ 目荒らし工法（高圧洗浄） 外壁下地　(・) ㈱LIXIL SAIDIX-LT　同等品 亜鉛メッキ鋼板t15　ウレタン充填 通気工法　透湿防水シート共 製造所の施工要領による (・) 床材は製造所の施工要領によるクリップ接着工法
	5 陶磁器質タイル型枠先付け (11.4.3)	・ タイルシート法　・ 目地桝法　・ 桟木法

章	項目	特記事項
12 木工事	1 表面仕上げ (12.1.4)	(表12.1.1) 種別：・Ａ種　＊Ｂ種　・Ｃ種 適用箇所
	2 木　材 (12.2.1)	木材の含水率　＊ Ａ種　・ Ｂ種　(表12.2.1) 製材　＊「製材の日本農林規格」による ・「製材の日本農林規格」以外の製材 造作材材面の品質　＊ Ａ種　・ Ｂ種　(表12.2.2) 樹種は、図示または標準仕様書による。 代用樹種　＊ 認める　・ 認めない　(表12.2.3)
	3 造作用集成材 (12.2.1)	＊「集成材の日本農林規格」による ・「集成材の日本農林規格」以外の集成材 ・ 造作用集成材（寸法は図示による） 施工箇所／樹種／見付け材面の品質／ ＊ 1等　・ ＊ 1等　・ ＊ 1等　・ ＊ 1等　・ ・ 化粧ばり造作用集成材（寸法は図示による） 施工箇所／心材の樹種／化粧薄板の樹種／化粧薄板の厚さ(mm)／見付け材面の品質 ＊ 杉　・／＊ 1.0　・／＊ 1等　・ 鴨居・長押・回縁／＊ 杉　・／＊ 0.6　・／＊ 1等　・ 天井板／＊ 杉　・／＊ 0.2　・／＊ 1等　・ 敷居／＊ ｽﾀﾞｼ　・／＊ 1.5　・／＊ 1等　・ ＊ 1等　・ ＊ 1等　・ ・ 化粧ばり構造用集成材（寸法は図示による） 施工箇所／心材の樹種／化粧薄板の樹種／化粧薄板の厚さ(mm)
	4 造作用単板積層材 (12.2.1)	＊「単板積層材の日本農林規格」による ・「単板積層材の日本農林規格」以外の集成材 ・ 造作用単板積層材（寸法は図示による） 施工箇所／表面の品質／防虫処理／厚さ(mm) 天然木化粧加工
	5 床張り用合板等 (12.2.1)	・ 普通合板(厚さ ＊ 5.5mm　・　　) 接着の程度　＊ １類　・ ２類 表板の樹種　・ ラワン　・ しな　・ 針葉樹 板面の品質（広葉樹）・ １等　・ ２等 （針葉樹）・ Ｃ－Ｄ　・ 処理　・ 防虫処理　・ ・ 構造用合板(厚さ ＊ 12mm　・ 9mm　　) 種別　・ 特類　＊ １類 表板の樹種　・ ラワン　・ しな　・ 針葉樹 等級　・ １級　＊ ２級 板面の品質　＊ Ｃ－Ｄ　・ 処理　・ 防虫処理　・ ・ パーティクルボード(厚さ ＊ 15mm　・　　) 曲げ強さによる区分　・ 18　＊ 13　・ 8 接着剤による区分　・ Ｕ　・ Ｍ　・ Ｐ ・ 構造用パネル(厚さ　mm　等級　　)
	6 防腐・防蟻処理 (12.3.1)	処理方法 ・ 薬剤の加圧注入（保存処理性能区分　・ Ｋ２　・ Ｋ３　・ Ｋ４） ・ 薬剤の塗布 ・ 接着剤への薬剤混入 適用箇所（　　）
	7 防虫処理 (12.3.2)	ラワン材　保存処理　Ｋ１

有限会社 環境計画建築研究所 DESIGN ENVIRONMENTAL
１級建築士事務所登録1572号
１級建築士登録62456号
矢田和弘

工事名：永井隆記念館施設整備事業
永井隆記念館建設（建築主体）工事

図面名：特記仕様書　2

縮尺：

図番：A-02

13 屋根及びとい工事

① 長尺金属板葺 (13.2.2～3)

金属板の種類
- ＊ 塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(屋根用)
- ・ 溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (屋根用)
- ・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (屋根用)

金属板の厚さ (mm)
一般部 ・ 0.3 ・ 0.35 ＊ 0.4 ⊙ 0.5 ・
谷 部 ・ 0.3 ＊ 0.4 ・ 0.5 ・

下葺材料 ・ アスファルトルーフィング940
⊙ 改質アスファルトルーフィング下葺材t2.0
(・一般タイプ ・複層材タイプ ⊙粘着層付きタイプ)

屋根葺形式
・ 瓦棒葺(心木なし) ⊙ 立平葺 ・ 横葺 ・ あり掛葺

雪止め ⊙ 設置する ・ 設置しない

② 折 板 葺 (13.3.2)

形式 ＊ 重ね形 ・ はぜ締め形
山高 mm 山ピッチ mm
耐力による区分
・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 ・ 4種 ・ 5種
厚さ(mm) ＊ 0.8 ・ 0.5
材料
- ＊ 塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(屋根用)
- ・ 溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (屋根用)
- ・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (屋根用)

軒先面戸板 ・ 適用する ・ 適用しない
断熱材張り ・ 行う ・ 行わない
断熱材の種別
厚さ(mm)

③ 粘 土 瓦 葺 (13.4.2～3)

製法による区分 ゆう薬がわら ・ いぶしがわら
形状による区分 J形 ・ S形 ・ F形
寸法による区分 ・ 49A ・ 49B ・ 53A 53B ・
産地による区分 石州瓦
役物瓦の種類 ・ がんぶり ・ のし瓦 ・ 軒瓦 ・ そで瓦
雪止め瓦 使用する ・ 使用しない

④ と い (13.5.2～3)

部 位	材 種	仕上げ	とい受金物
軒とい	・ 硬質塩化ビニル雨とい ⊙ GL鋼板W165 ⊙ GL鋼板W113	＊ カラー	＊ 市販品 ⊙ 図示による @300
縦とい	・ 硬質塩化ビニル雨とい ・ 硬質塩化ビニル管(VP) ⊙ GL鋼板90φ・60φ (軒樋) ⊙ GL鋼板89φ+飾り枡 (陸屋根)	＊ カラー	＊ 市販品 ・ 図示による

⊙ ㈱タニタハウジングウェア HACO同等品

⑥ 縦といの床及び天井面の取合部 (13.5.3)

防露を行う場合
＊ 13.5.3(c)による (幅木 h=150mm 回り縁 h=30mm)
防露を行わない場合
＊ ｼｰﾘﾝｸﾞﾌﾟﾚｰﾄ(ｽﾃﾝﾚｽ製)を取り付ける。
施工箇所
屋内露出部の床・天井貫通部及びボード類仕上げの天井貫通部

⑦ 施工保証書

建築板金工事に係る施工保証
⊙ 屋根の防水 10年間
⊙ 雨どい 5年間
⊙ 壁の防水 10年間
上記期間の施工保証書を提出し、期間内に受注者の責任により漏水したときは、受注者の負担により直ちに補修することを確約する。

14 金属工事

1 あと施工アンカー (14.1.3(b))

あと施工アンカーの種別 ・金属系アンカー ・粘着性アンカー

引抜き耐力の確認試験
＊ 機械的簡易引抜試験機による引張試験 ・ 行わない
設計用引張強度

② ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)

屋外 ＊ #400 ⊙ ＨＬ ・ 図示による
屋内 ・ #400 ＊ ＨＬ ・ №2B ・ 図示による

③ アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)

(表14.2.1)

適 用 箇 所	表面処理の種別	皮膜又は複合皮膜の種類
水切・アングル	⊙ A-1種 ・ A-2種 ・	⊙ AA15 ・
	・ B-1種 ・ B-2種 ・	・ B ・
	・ C-1種 ・ C-2種 ・	・ AA6 ・
	・ D 種	

4 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)

(表14.2.2)

表面処理方法	種 別	適 用 箇 所
溶融亜鉛めっき	・ A種	
	・ B種	
	・ C種	
電気亜鉛めっき	・ D種	
	・ E種	
	・ F種	

⑤ 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2～4)

野縁等の種類
屋内 ＊ １９形 ・ ２５形
屋外 ・ １９形 ＊ ２５形
照明器具、吹出口、その他開口部周辺では必要に応じ増吊りを行う。
耐震性を考慮した補強 ・ 図示による
屋外の軒天井・ピロティ－天井等の補強 ・ 図示による
天井のふところが３ｍを超える場合 ・ 図示による

⑥ 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)

スタッド・ライナーの種類
＊ 表14.5.1のスタッドの高さによる区分に応じた種類とする
⊙ 図示による

⑦ 金属成形板張り (14.6.2～3)

⊙ フッ素GL鋼板t0.5×W100 目地無し：大屋根
⊙ フッ素GL鋼板t0.5×W200 目地無し：アプローチ

⑧ アルミニウム製笠木 (14.7.2)

部材の種類 ⊙ 形状は図示による
・ ２５０形 ・ ３００形 ・ ３５０形 ・ ２００形
笠木本体の材料の表面処理
＊ A-1種またはB-1種 ⊙ 製造所の仕様

⑨ 手 す り (14.8.2)

施 工 箇 所	材料の種別	表面処理の仕上げ	備 考
スロープ	SUS304	HL	

10 タ ラ ッ プ (14.8.3)

材料の種別 ・ ステンレス ・ 鋼製
表面処理の種別 ・

⑪ 金属サイディング張り

フッ素GL鋼板t15 ウレタン充填
透湿防水シート共
アイジー工業㈱ SFガルスパンJ同等品 縦張り横継手なし

15 左官工事

1 既 製 目 地 材 (15.2.2)

適用箇所 ( )
形状等 ・ 図示による ・

2 防水剤入りモルタル塗り

塗り厚さ (mm)
壁 ＊ 20 ・
床 ＊ 30 ・
外壁タイル張り下地等の均しモルタルの接着力試験
・行う ・行わない

3 ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材塗り (15.4.2)

(表15.4.1)

種 類	施 工 箇 所
セメント系	
・ せっこう系	

④ 仕上塗材仕上げ (15.5.2)

不燃内装薄塗材A アイカ工業㈱ ジョリパットイタリアアート
ミラノモノトーン同等品

同上 B ジョリパット200
掻き落とし同等品

同上 C ジョリパットゼロ
スターリーナイト同等品

同上 D ジョリパットイタリアアート
ベネチアモノトーンハイライト同等品

種 類	呼び名	仕上げの形状	工 法	備 考
・ 薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材Si	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ ﾛｰﾗｰ塗り	
	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状	・ 吹付け	
	・ 可とう形外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ ﾛｰﾗｰ塗り	
	・ 防水形外装薄塗材E	・ 凹凸状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ ﾛｰﾗｰ塗り	
	・ 外装薄塗材S	・ 砂壁状	・ 吹付け	
	・ 内装薄塗材W	・ 京壁状じゅらく	・ 吹付け	
・ 厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C ・ 内装厚塗材C	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ ひき起こし	・ 吹付け ・ こて塗り	
	・ 外装厚塗材E	・ 吹放し ・ 凸部処理	・ 吹付け	
・ 複層仕上塗材	・ 複層塗材CE ・ 複層塗材Si ・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 可とう形複層塗材CE ・ 防水形複層塗材CE ・ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RS ・ 防水形複層塗材RE	・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状	・ 吹付け ・ ﾛｰﾗｰ塗り	
・ 軽量骨材仕上塗材	・ 吹付用軽量塗材 ・ こて塗り用軽量塗材	・ 砂壁状 ・ 平たん状	・ 吹付け ・ こて塗り	

5 マスチック塗材塗り (15.6.2)

適 用 箇 所	種 別	凸 面 処 理
	・A種 ・B種	・行う ・行わない

仕上材 ・ つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ

16 建具工事

1 防 火 戸 (16.1.3)

煙感知器連動とする防火戸の解錠機構は別途とする。
＊ 扉にラッチ受座用切込開口補強を行う
・ 枠に解錠機構用切込開口補強を行う

2 防犯建物部品 (16.1.6)

・適用する ( )

③ アルミニウム製建具 (16.2.2)

外部に面する建具
＊ ビル用サッシ (ALC用)
種別 ＊Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種 (表16.2.1)
表面処理 ・ Ｂ－１種 ⊙ Ｂ－２種(色調： ブラック)
複合皮膜の種類 ⊙ Ａ１ ・ Ａ２
・ 木造用サッシ
種別 (木造標準仕様書：表16.2.1)
・ Ａ種 ・ Ｂ種
表面処理 ・ Ｂ－１種 ・ Ｂ－２種(色調：)
複合皮膜の種類 ・ Ａ１ ・ Ａ２
・ 防音ドアセット、防音サッシ
遮音性の等級 ・ Ｔ－１ ・ Ｔ－２ ・ Ｔ－３
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ
断熱性の等級 ・ Ｈ－１ ・ Ｈ－２ ・ Ｈ－３
・ 耐震ドアセット
変形追従性の等級 ・ Ｄ－１ ・ Ｄ－２ ・ Ｄ－３
結露水の処理方法 ＊ 図示による

④ 網 戸 (16.2.3(e))

種類 ＊ 可動式 ・ 固定式
表面処理 ・ Ｂ－１種 ⊙ Ｂ－２種(色調： ブラック)
防虫網の材質
＊ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ 合成樹脂製
・ ステンレス(SUS316)製

5 樹 脂 製 建 具 (16.3.2)

性能及び構造
種別 Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種 (表16.3.1)
・ 防音ドアセット、防音サッシ
遮音性の等級 ・ Ｔ－Ａ種(Ｔ－１) ・ Ｔ－Ｂ種(Ｔ－２)
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ
断熱性の等級 ・ Ｈ－Ａ種(Ｈ－４) ・ Ｈ－Ｂ種(Ｈ－５)
・ Ｈ－Ｃ種(Ｈ－６)

6 鋼 製 建 具 (16.4.2～3)

外部に面する建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6
・ 防音ドアセット、防音サッシ
遮音性の等級 ・ Ｔ－１ ・ Ｔ－２ ・ Ｔ－３
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ
断熱性の等級 ・ Ｈ－１ ・ Ｈ－２ ・ Ｈ－３
・ 耐震ドアセット
変形追従性の等級 ・ Ｄ－１ ・ Ｄ－２ ・ Ｄ－３
鋼板 ・ JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯
・ JIS G 3317 溶融亜鉛－５%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯

⑦ 鋼製軽量建具 (16.5.2～3)

性能及び構造
・ 防音ドアセット、防音サッシ
遮音性の等級 ・ Ｔ－１ ・ Ｔ－２ ・ Ｔ－３
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ
断熱性の等級 ・ Ｈ－１ ・ Ｈ－２ ・ Ｈ－３
・ 耐震ドアセット
変形追従性の等級 ・ Ｄ－１ ・ Ｄ－２ ・ Ｄ－３
材 料
鋼板類
＊ 表面処理亜鉛めっき鋼板または表面処理鋼板
・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板
召合せ、縦小口包み板等の材質
＊ 鋼板 ・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 ・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金の押出形材

8 ステンレス製建具 (16.6.2～4)

外部に面する建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6
・ 防音ドアセット、防音サッシ
遮音性の等級 ・ Ｔ－１ ・ Ｔ－２ ・ Ｔ－３
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ
断熱性の等級 ・ Ｈ－１ ・ Ｈ－２ ・ Ｈ－３
・ 耐震ドアセット
変形追従性の等級 ・ Ｄ－１ ・ Ｄ－２ ・ Ｄ－３
ステンレス鋼板 ＊ ＳＵＳ３０４
表面仕上げ ・ ＨＬ ・ #400 ・
曲げ加工 ＊ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (・a角 ・b角 ・c角)

⑨ 木 製 建 具 (16.7.2)(16.7.4)

フラッシュ戸の材料
表面材の合板の種類 ＊ 図示による
かまち戸の材料
かまち及び鏡板の樹種 ＊ 図示による
ふすまの材料
Ｉ形 ・ Ⅱ形 (表16.7.3)
上張りの種類 ＊ 図示による
縁仕上 ・ 塗り縁 ・ 生地縁(素地)
・ 生地縁(ウレタンクリヤー塗装)
枠及びくつずりの材料 ＊ 図示による

⑩ 建具用金物 (16.8.2)

金物の形式
ドアクローザー ＊ 面付形 ・ コンシールド形
ヒンジクローザー ＊ ピボット形 ・ 丁番形
フロアヒンジ ＊ 中心吊り込み形 ・ 持出し吊り込み形
レール戸車
らんまなどの軽微な箇所はビニル製としてよい
マスターキー ⊙ 製作する(1本) ⊙ 製作しない
・ 既存に合わせる
鍵箱 ・ 設ける (箇所) ⊙ 設けない

⑪ 自動ドア開閉装置 (16.9.3)

戸の開閉方法 ＊ 図示による
センサーの種類
・ マット ・ 電子(電磁)マット ⊙ 光線(反射) ・ 音波
・ 熱線 ・ 光電 ・ タッチ ・ ペダル ・ 押しボタン
取付位置 ⊙ 天井 ・ 床 ・ 壁 ・ 無目 ・ 建具

12 重量シャッター (16.11.2)

種類 ・ 一般 ・ 外壁用防火 ・ 屋内用防火 ・ 屋内用防煙
防火及び防煙シャッターは、自動閉鎖装置及び随時閉鎖装置付きとし、連動制御板及び煙感知器は別途とする。
耐風圧強度 ・ 一般 N/㎡ ・ 外壁用 N/㎡
開閉機能の種類 ・ 上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式
一般重量ｼｬｯﾀｰのｼｬｯﾀｰｹｰｽ ＊ 設ける ・ 設けない

13 軽量シャッター (16.12.2)

開閉形式 ＊ 手動式 ・ 上部電動式(手動併用)
耐風圧強度 ・ N/㎡
スラットの材質
＊ JIS G 3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯
・ JIS G 3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯
スラットの形状 ＊ ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ形 ＊ ｵｰﾊﾞｰﾗｯﾋﾟﾝｸﾞ形
シャッターケース ＊ 設ける ・ 設けない
座板の材質(屋外の場合) ＊ ステンレス

14 オーバーヘッドドア (16.13.2)

セクション材料による区分
＊ ｽﾁｰﾙﾀｲﾌﾟ ・ ｱﾙﾐﾆｳﾑﾀｲﾌﾟ ・ ﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽﾀｲﾌﾟ
耐風圧性能 ・ 500Pa ・ 750Pa ・ 1000Pa ・ 1250Pa ・
開閉方式による区分
＊ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式
収納形式による区分
＊ ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ形 ・ ﾛｰﾍｯﾄﾞ形 ・ ﾊｲﾘﾌﾄ形 ・ ﾊﾞｰﾁｶﾙ形

⑮ ガ ラ ス (16.14.2)

⊙ Low-Eガラス AGCブルーグレイ同等品
ガラスの品種・性能・厚さ等は図示による
ガラス留め材 (防火戸を除く)
＊ シーリング材
・ ガスケット (・ ｸﾞﾚｲｼﾞﾝｸﾞﾁｬﾝﾈﾙ形 ・ ｸﾞﾚｲｼﾞﾝｸﾞﾋﾞｰﾄﾞ形)
熱線反射ガラスの映像調整 ・ 行う ・ 行わない

16 ガラスブロック積み (16.14.5)

表面形状	呼び寸法	厚さ(mm)	施 工 箇 所
・ 正方形			
・ 長方形			

⑰ 付属電気設備

電動ｼｬｯﾀｰ、電動ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ7、自動ドア等に付属する電気設備の施工範囲は下記による。
一次側電源供給 ＊ 別途工事 ・ 本工事
二次側配管配線器具取付 ＊ 本工事 ・ 別途工事
0.4kW以上の三相電動機には、機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断器及び進相用コンデンサを設置する。

⑱ ガラスフィルム

住友3M ファサラ同等品

18 塗装工事

① 材 料 等 (18.1.3)

トルエン、キシレン等を含む材料については、できるだけ含有量の少ない材料の使用に努める。また、施工中及び施工後十分な換気を行う。

② ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面耐候性塗料塗り (18.7.4)

適 用 箇 所	種 別
	・ A種 ・ B種 ・ C種
	・ A種 ・ B種 ・ C種
	・ A種 ・ B種 ・ C種

③ DP塗装

亜鉛メッキ面 1級 フッ素樹脂

有限会社 環境計画建築研究所 DESIGN ENVIRONMENTAL
1級建築士事務所登録1572号
1級建築士登録62456号
矢 田 和 弘

工事名 永井隆記念館施設整備事業
永井隆記念館建設（建築主体）工事

図面名 特記仕様書 3

縮尺

図番 A-03

章	項目	特記事項
⑲ 内装工事	① 材料等	トルエン、キシレン等を含む材料については、できるだけ含有量の少ない材料の使用に努める。また、施工中及び施工後十分な換気を行う。
	② ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (19.2.2～3)	⊙ ビニル床シート

種類	記号	色柄	厚さ(mm)	工法	備考
⊙ 発泡層のないもの	⊙ ＦＳ ・ ＴＳ	＊ 無地 ・ 柄模様	⊙ 2.0 ・ 2.5	・ 突付け ⊙ 熱溶接	
・ 発泡層のあるもの	・ ＨＳ ・ ＫＳ	・ 無地 柄模様	・ 1.8 ・ 2.3	・ 突付け ・ 熱溶接	

⊙ ビニル床タイル

種類	記号	色柄	厚さ(mm)	備考
⊙ 複層ビニル床タイル	⊙ ＦＴ ・	＊ 無地 ⊙ 柄模様	＊ 2.0 ⊙ 3.0	東リ㈱ ロイヤルストーンモア 同等品
・ コンポジション	・ ＫＴ	＊ 無地 ・ 柄模様	＊ 2.0 ・ 3.0	

・ 特殊機能床材（帯電防止）

種類	記号	厚さ(mm)	性能
・ 床シート ・ 床タイル (ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・ ＦＳ ・ ＫＴ	＊ 2.0 ・	帯電防止性能評価値(JISA1455) 1.2以上 ～ 3.2未満 又は体積電気抵抗値(JISA1454) 1×10^{7} ～10^{10}

・ 特殊機能床材（帯電防止以外）

種類	材質	厚さ(mm)	寸法(mm)	備考
・ 視覚障害者用床材 (JIS T 9251)	・塩化ﾋﾞﾆﾙ ・合成ｺﾞﾑ	・ 2.0 ・ 3.0	＊ 300×300	
・ 耐動荷重性床ｼｰﾄ	・ ＮＣ	・ 2.0		
・ 防滑性床ｼｰﾄ	・	・ 2.0		
・ 防滑性床ﾀｲﾙ	・	・		

・ ビニル幅木
高さ(mm) ・ 60 ・ 75 ・ 100 ⊙ 40 ・ 300
・ ゴム床タイル
厚さ(mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0

③ カーペット敷き (19.3.3～4)

施工箇所（ 内部仕上表による ）
・ 織じゅうたん（ 参考品番 ： ）
種別 ・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種 (表19.3.1)
・ タフテッドカーペット（ 参考品番 ： ）
パイルの形状 ・ ﾙｰﾌﾟ ・ ｶｯﾄ パイル長 mm
工法 ・ ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法 ・ 全面接着工法
・ ニードルパンチカーペット（ 参考品番 ： ）
厚さ(mm) ・ 4.0 ・ 7.0(ラバー付)
⊙ タイルカーペット（ 参考品番 ： 東リ㈱ GA-100W 同等品 ）

種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	制電性(人体帯電電位)	施工箇所
＊ 第一種 ・ 第二種	＊ ループ ・ カット	＊ 500×500 ・	＊ 6.5 ⊙ 7.5	・ 3kV以下 ・	
＊ 第一種 ・ 第二種	＊ ループ ・ カット	＊ 500×500 ・	＊ 6.5 ・	・ 3kV以下 ・	
＊ 第一種 ・ 第二種	＊ ループ ・ カット	＊ 500×500 ・	＊ 6.5 ・	・ 3kV以下 ・	

人体帯電電位の測定条件は、JIS L 1023(23℃ 25%RH 合成底靴)による。

④ 合成樹脂塗床 (19.4.3)

・ 厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床
仕上げの種類
＊ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
・ 厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床
工法及び仕上げの種類
・ 薄膜流し展べ工法（・ 平滑 ・ 防滑 ）
・ 厚膜流し展べ工法（・ 平滑 ・ 防滑 ）
・ 樹脂モルタル工法（・ 平滑 ・ 防滑 ）
・ 薄膜型塗床材
・ 水性硬質ｳﾚﾀﾝ塗料塗り

⑤ フローリング張り (19.5.2～7)

品名・工法
⊙ 単層フローリング （カバ、ブナ類）
品名 ⊙ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ1等 ・ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ1等・ ﾓｻﾞｲｸﾊﾟｰｹｯﾄ1等
工法 ・ 湿式工法(モルタル埋込み工法)
⊙ 乾式工法
⊙ 釘留め工法 （ ・ 根太張り ⊙ 直張り）
⊙ 接着工法
品名 ・ 複合１種 ・ 複合２種 ・ 複合３種
工法 乾式工法
・ 釘留め工法 （ ・ 根太張り ・ 直張り）
（ ・ Ａ種 ・ Ｂ種 ＊ Ｃ種）
・ 接着工法
仕上げ
・ ウレタン樹脂ワニス塗り
・ オイルステイン塗り
⊙ 生地のまま サンダー仕上
・ 塗装品

⑥ 畳敷き (19.6.2)

種別
・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種 ＊ Ｄ種
Ｄ種の場合の畳床の記号
・KT-Ⅰ ＊KT-Ⅱ ・KT-Ⅲ ・KT-K ・KT-N

章	項目	特記事項
	⑦ せっこうボード、その他ボード及び合板張り (19.7.2～3)	せっこうボード、その他ボード類の種類、厚さ、防火性能等は、図示による。 合板の種類等 ・ 普通合板 種別 ＊ １類 ・ ２類 ・ 特類 表板の樹種 ・ ラワン ・ しな ・ 針葉樹 板面の品質 (広葉樹) ・ １等 ・ ２等 (針葉樹) ・ Ｃ－Ｄ ・ 処理 ・ 防虫処理 ・ 厚さ ＊ 図示による ・ ・ 天然木化粧合板 化粧板の樹種 ・ 処理 ・ 防虫処理 ・ 厚さ ＊ 図示による ・ ・ 特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 ・ ｵｰﾊﾞｰﾚｲ（・ ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ ・ ﾒﾗﾐﾝ） ・ ﾌﾟﾘﾝﾄ ・ 塗装 処理 ・ 防虫処理 ・ 厚さ ＊ 図示による ・ 合板の張付け ・Ａ種 ・Ｂ種 せっこうボードの目地工法 ＊ 突付け工法 適用箇所（下記２工法以外の箇所） ・ 目透し工法 適用箇所（ ） ⊙ 継目処理工法 適用箇所（ 塗装下地 ） ⊙ 継目処理工法 適用箇所（ 不燃内装薄塗材 弾性パテ処理含む ） ⊙ 継目木押縁留め 適用箇所（ 内装用調湿板 接着併用 ） グラスウール吸音材の取付方法 ＊ ｶﾞﾗｽｸﾛｽ(104g/m²)張りの上ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ留め(@450mm)

施工箇所	品質・製造所等	防火性能
		・ 不燃 ・ 準不燃
		・ 不燃 ・ 準不燃
		・ 不燃 ・ 準不燃

モルタル・プラスター面の素地ごしらえ	・Ａ種	・Ｂ種
コンクリート・ＡＬＣ面の素地ごしらえ	・Ａ種	・Ｂ種
せっこうボード面の素地ごしらえ	・Ａ種	・Ｂ種

⑧ 壁紙張り (19.8.2)		
⑨ 断熱材 (19.9.2～3)	⊛ 押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材 （スキ層 なし） 種類 ＊3種b ・ 厚さ(mm) ＊25 ・ ・ ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材 種類 特号 ・ 厚さ(mm) 25 ・ ・ Ａ種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ 断熱材 種類 ・ １種２号 ・ 厚さ(mm) 25 ・ ・ 吹付け硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材 種類 Ａ種 ・ 厚さ(mm) 25 ・ ⊙ グラスウール 断熱材 種類 ＊ 24K ・ 32K ・ 40K ・ ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散による区分 ＊ Ｆ☆☆☆ 呼び厚さ ・ 25 ⊙ 50 ⊙ 100 ・ 住宅用グラスウール断熱材 ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散による区分 ＊ Ｆ☆☆☆ 相対密度(kg/m3) ・ 10 ・ 16 ・ 24 ・ 呼び厚さ ・ 50 ・ 75 ・ 100
⑩ 天井回縁・見切縁	＊ アルミニウム既製品 ⊙ 塩化ビニル既製品
⑪ 内装用調湿板	㈱エーアンドエーマテリアル カラリッチ同等品 施工は一般内装業者とする
⑫ 不燃化粧板	DICデコール㈱ 不燃WO 910×910程度×6 4方巻込み仕様 目透かし工法同等品 FINEシリーズ
⑳ ユニット及びその他の工事	1 コーナービード 2 ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ (20.2.2)	材質 ＊ ｽﾃﾝﾚｽ製 ・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・ 木製

施工箇所		
構法	・ ﾊﾟﾈﾙ構法 ・ 溝構法	・ ﾊﾟﾈﾙ構法 ・ 溝構法
耐震性能	・ 1.0G ・ 0.6G	・ 1.0G ・ 0.6G
耐荷重性能	3000N ・ 5000N	3000N ・ 5000N
高さ(mm)	・ 50 ・ 100 ・	・ 50 ・ 100 ・
ﾊﾟﾈﾙ要素の材質	・ ｽﾁｰﾙ系 ・ ｱﾙﾐ系 ・	・ ｽﾁｰﾙ系 ・ ｱﾙﾐ系 ・
床表面仕上げ材の材質	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・ 帯電防止床ﾀｲﾙ	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・ 帯電防止床ﾀｲﾙ
ボーダー部及びスロープの仕様	製造所仕様 ・ 図示による	製造所仕様 ・ 図示による

章	項目	特記事項
	3 可動間仕切 (20.2.3)	構造形式による区分 スタッド式 ・ パネル式 ・ スタッドパネル式 遮音性 指定しない ・ 図示による 表面材の材質及び厚さ 鋼板(0.6mm) ・ パネル表面仕上げ ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付またはｱｸﾘﾙ樹脂焼付 ・ ・ 20.2.3(b)(6)を適用しない
	4 移動間仕切 (20.2.4)	操作方法による区分 手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式 パネル表面材の材質及び仕上げ 溶融亜鉛めっき鋼板焼付塗装仕上げ ・ 合板張り（・クロス張り ・ＯＰ塗り）
	⑤ トイレブース (20.2.5)	表面材 ⊙ ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 ・ ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂系化粧板 ・ 塗装ステンレス板 ｴｯｼﾞ材質形状 ・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製Rｴｯｼﾞ ・ ステンレス製 ⊙ウレタン塗装 幅木の材質 ⊙ ｽﾃﾝﾚｽ製 ・ アイカ工業㈱ ピュアコアブース 同等品
	6 階段滑り止め (20.2.6)	材質 ｽﾃﾝﾚｽ製 ・ 黄銅製 ・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ﾌﾗｯﾄｴﾝﾄﾞ 無 ・ 有（ ﾀｲﾔと同材 ・ ｽﾃﾝﾚｽ製） 形式 ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾔまたは合成ｺﾞﾑﾀｲﾔ入り ・ 幅(mm) ３５ ・ 工法 接着工法 ・ 埋込み工法
	7 黒板及びホワイトボード (20.2.8)	・ 黒板(種類 ＊ 焼付け ・ 研出し 色 ＊ 緑 ・) ホワイトボード
	⑧ 表示 (20.2.10)	・ 室名札 材質 ｱｸﾘﾙ ・ ｽﾃﾝﾚｽ ・ 図示による 文字書 ・ ｴﾅﾒﾙ書 ・ ｼｰﾄ貼り ・ 図示による 寸法(mm) ・ ピクトグラフ 材質 ・ ｱｸﾘﾙ ・ ｽﾃﾝﾚｽ ・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ サイン書 ・ ｼｰﾄ貼り ・ ｼﾙｸ印刷 寸法(mm) ・ 庁名文字 種別 ・ 切抜文字 ・ 箱文字 材質 ・ ステンレス ・ 黄銅 文字の大きさ(mm) × 文字数 ・ 庁舎案内板 図示による ・ 視覚障がい者用案内板 図示による ・ 階数表示板 材質 ・ ｱｸﾘﾙ ・ ｽﾃﾝﾚｽ ・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ 文字書 ・ ｴﾅﾒﾙ書 ・ ｼｰﾄ貼り ・ ｼﾙｸ印刷 寸法(mm) ・ 衝突防止表示 図示による ・ 非常用進入口等の表示 図示による ⊙ 図示による
	9 煙突ライニング (20.2.11)	安全使用温度 ４００℃ ・ ６００℃
	⑩ ブラインド (20.2.12)	⊙ 減速降下+障害物検知自動停止機能付き

形式	ｽﾗｯﾄの材種	開閉方式	ｽﾗｯﾄの幅(mm)	使用箇所
⊙ 横型	＊ ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金	＊ ギヤ式 ・ コード式	＊ ２５ ・ ３５	図示による
・ 縦型	＊ ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金 ・ クロス	・ コード式 ・ ボール式	・ ８０ ・ １００	

⑪ ロールスクリーン (20.2.13)	操作方法 ・ スプリング式 ⊙ チェーン式 材質 ・ 布製 ⊙ ガラス繊維製 ・ 木製 製造所等 幅・高さ ＊ 図示による	
12 カーテン及びカーテンレール (20.2.14)	・ カーテン	

施工箇所			
きれ地の種別 品質・製造所			
ひだの種類	・ ﾌﾟﾚｰﾝひだ、片ひだ ・ 箱ひだ、つまひだ ・ フランスひだ	・ ﾌﾟﾚｰﾝひだ、片ひだ ・ 箱ひだ、つまひだ ・ フランスひだ	・ ﾌﾟﾚｰﾝひだ、片ひだ ・ 箱ひだ、つまひだ ・ フランスひだ
開閉形式	・片引き ・ 引分け	・片引き ・ 引分け	・片引き ・ 引分け
操作方式	・ 手引き ・ 電動 ・ ひも引き	・ 手引き ・ 電動 ・ ひも引き	・ 手引き ・ 電動 ・ ひも引き
備考			

・ カーテンレール及び付属品
強さ ＊ 10－90 ・ 10－60
材料 ｱﾙﾐﾆｳﾑ及びｱﾙﾐﾆｳﾑ合金 ・ ｽﾃﾝﾚｽ
形状 角形 ・ Ｃ形 ・Ｄ形
本数 ・ シングル ・ ダブル

13 くつふきマット	材種（受け枠はステンレス製とする） ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 ・ ビニル製	
14 アコーディオンカーテン、ドア	消防法に規定する防炎加工を行ったものとする。	

章	項目	特記事項
	⑮ ｷｯﾁﾝｷｬﾋﾞﾈｯﾄ	規格 ⊙一般品 ㈱LIXIL ティオ （混合栓付グリル無）L1,200同等品 扉036シリーズ・ライン取手

品名	材質 ｶｳﾝﾀｰﾄｯﾌﾟ、シンク	材質 キャビネット	寸法 (mm)
・ 流し台	＊ ステンレス	＊ 木製	Ｌ＝
・ コンロ台	＊ ステンレス	＊ 木製	Ｌ＝
・ 調理台	＊ ステンレス	＊ 木製	Ｌ＝
・ 吊戸棚		＊ 木製	Ｌ＝
・ ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ		＊ 鋼製	Ｌ＝

流し台は、トラップ(水封50mm以上)、網かご、包丁差し付きとする。
トラップへの配水管接続 ・ 本工事 ・ 別途工事
・ 水切棚
材質 ＊ ステンレス ・ アルミニウム
段数 ・ １段 ・ ２段
寸法(mm) Ｌ＝

⑯ 点検口	⊙ 天井点検口 寸法(mm) ＊ 450×450 ・ 材質 ＊ アルミニウム（ホワイト） ・ ・ 床点検口 寸法(mm) ＊ 600×600 ・ 材質 ＊ ステンレス ・ アルミニウム	
17 屋上点検口	形式 ＊ 公共住宅標準詳細設計図集による 材質 ＊ ステンレス ・ 鋼製 形状 ・ 丸形(600φ) ・ 角形(600角)	
18 天井裏換気ﾊﾟｲﾌﾟ	材質 ＊ 塩化ﾋﾞﾆﾙ ・ ステンレス ・ 図示による 径(mm) ＊ 50 ・150 外部付属品 ・ アミ ・ エルボ ・イゲタ ・図示による	
19 床下換気孔	材質 ・ ステンレス ・ 合成樹脂 寸法(mm) ・ 防虫網 ・ ステンレス製 ・ 合成樹脂製	
20 階段及び廊下手すり	規格 ・ 一般品 握り部材質 ・ 合成樹脂 ・ ステンレス ・ 木 握り部径(mm) ・ 34 ・ 38 ・ 40	
21 補助手すり	規格 ・標準詳細図による ・一般品 握り部材質 ・合成樹脂被覆ｽﾃﾝﾚｽ ・ｽﾃﾝﾚｽ ・ 木 握り部径(mm) ・ 34 ・ 38 ・ 40	
22 タオル掛け	形式 ＊ 一般品(製造所：) ・ 公共住宅標準詳細設計図集(＊A ・B ・C ・D) 材質 ・ ｽﾃﾝﾚｽ ・ 樹脂被覆ｽﾃﾝﾚｽ 寸法(mm) ・ L=300 ・ L=450 ・ L=600 ・	
23 浴室ユニット	規格 ・ 一般品 製造所等 外形呼び寸法 ・１２１６ ・１６１６ ・	
㉔ ポスト	㈱LIXIL エクスポストロ金タイプ B-15サイズ同等品	
㉑ 排水工事 ① 排水管 (21.2.1)	材種 (表21.2.1) ・ 遠心力鉄筋コンクリート管 種類 ＊ 外圧管Ｂ１ ・ 継手 ＊ ゴム接合 ・ ＊ 硬質ポリ塩化ビニル管（ ＊VP ・VU ・RS-VU ）	
② 側塊、排水桝等 (21.2.2(f))	排水桝 ・ 既製コンクリート桝 ・ 建築工事標準詳細図による ・ 島根県機械設備施工標準図(平成12年版)による ・ 図示による ・ 現場打ちコンクリート桝 ・ 建築工事標準詳細図による ・ 島根県機械設備施工標準図(平成12年版)による ・ 図示による ・ ⊙ 塩ビ枡 桝ふた ・ 既製コンクリート製 ・ 鋳鉄製 種類 ・水封型 ・簡易密閉型 ・密閉型 ・中ふた付密閉型 安全荷重(kN) ・5 ・15 ・50 ・ グレーチング 材質 ・ 鋼製 ＊ ステンレス ・騒音防止 （ ・ 固定式 ・ ゴム式 ） ・ 一般 ﾒｲﾝﾊﾞｰﾋﾞｯﾁ ・ 一般型 ・ 細目型 耐荷重 ・T-2 ・ T-6 ・ T-20 ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ ・ 適用する ・ 適用しない ⊙ 塩ビ製	
③ 埋戻しに用いる材料 (21.2.1(m))	種別 ・ A種 ＊ B種 ・ C種 ・ D種 (表3.2.1)	

有限会社 環境計画建築研究所 DESIGN ENVIRONMENTAL
1級建築士事務所登録1572号
1級建築士登録62456号
矢田和弘

工事名	永井隆記念館施設整備事業 永井隆記念館建設（建築主体）工事	図面名 特記仕様書 4	縮尺 / 図番 A-04